

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	浦安市立堀江中学校	児童生徒数	682 名
テーマ	東日本大震災から学び、今私たちにできること		
実施主体	学校と地域の共催		
日時	11月25日 11:10～12:30(第1部) 13:40～15:00(第2部)		
会場	体育館		
日程 流れ・進行	1 講演会 2 アンケートの実施 3 講師とPTA本部役員・学校評議員の情報交換会 (PTA 行事・学区青少年健全育成委員会行事とセット)		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・保護者 ・教職員 ・学校評議員等 <p style="text-align: right;">合計 71名</p>		
広報	・保護者への配付物		
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波の恐ろしさを再認識した。 ・10年の歳月により地震や津波の記憶が薄れてきており、風化させてはいけない。 ・命より大切なものはない。 ・津波(高潮)が来たら高いところに逃げる。 ・たとえ津波でも夢や希望を打ち砕くことはできない。 ・避難所生活は周囲に気を遣い、辛いものである。思いやりや協力が 必要だと思った。 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所で活躍した中学生の話聴き、自分もみんなが困っている時に活躍できるようになりたいと考えた生徒が何人もいた。 ・地震に備えて食料や水などを準備したり、家族で話し合っ て避難した際の合流場所を決めたりすることが必要だと生徒も大人も改めて感じた。 ・避難訓練の大切さを再認識し、意識の向上を含めて訓練の工夫が必要 性も感じた。 		

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	船橋市立船橋中学校 船橋市立船橋小学校 船橋市立夏見台小学校 船橋市立八栄小学校	児童生徒数	1083 名 557 名 658 名 1004 名
テーマ	通学路・通学経路の安全について		
実施主体	学校と地域の主催		
日時	12月4日 10:00～12:00		
会場	ランチルーム		
日程 流れ・進行	意見交換 (中学校区の4校参加)		
参加者	・地域住民 ・保護者 ・教職員 <div style="text-align: right;">合計 45名</div>		
広報	・保護者への配付物		
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路を実際に歩くことで、危険な箇所を改めて認識することができ、子供に注意を促していける。 ・子供と大人の視点で危険な箇所が違う。 ・歩行者ゾーンをつくってほしい。 ・危険箇所を行政に報告し働きかけていく。 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内の通学路を点検、情報を共有したことで、子供たちへの注意喚起が徹底された。 ・地域、保護者が通学時における子供たちの安全に対する意識が高まった。 ・生徒代表を参加させ、地域や保護者との交流が持てた。 		

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	柏市立土小学校	児童生徒数	409 名
テーマ	地域とともに創る学び		
実施主体	学校と地域の主催		
日時	12月3日 14:30～16:00		
会場	体育館		
日程 流れ・進行	<p>1 全体会 説明：校長 梅津 健志 内容：「学校の実態とこれからを語る」</p> <p>2 ワークショップ テーマ：子どもにつけたい力は？そのために何ができる？ (意見集約)</p>		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・保護者 ・教職員 ・評議員等 <p style="text-align: right;">合計 81名</p>		
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への配付物 ・地域回覧 ・学校のホームページ 		
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が児童の安全な登下校に関わることについて ・放課後の施設の活用について ・各教科での地域の施設について ・人材の活用について ・コロナ後の異校種の交流について 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と地域の方、異校種の先生方との懇談でクラブ活動での地域人材の活用など、具体的なアイデアを出し合うことができた。 		